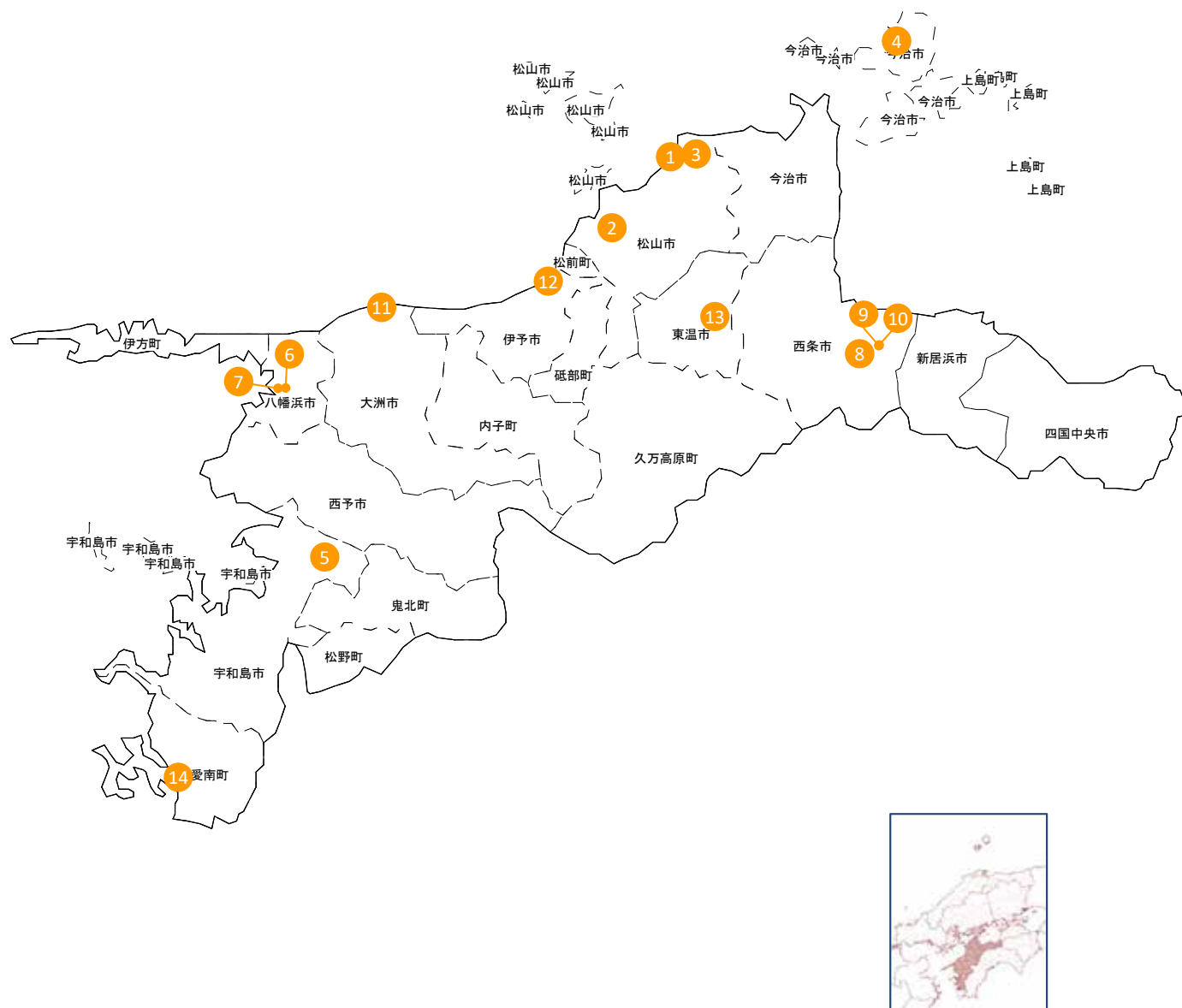


愛媛県

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (愛媛県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①		団体	松山市	きりぬき	農業	企業との連携	学生・若者の活躍
②		団体	松山市	公益社団法人 松山市シルバー人材センター	都市農業	伝統の継承	食育・教育
③		団体	松山市	HAPP (Hojo Agriculture Professional Production)	企業との連携	学生・若者の活躍	その他(新規就農者サポート)
④		団体	今治市	しまなみイノシシ活用隊	鳥獣被害防止	移住・定住	教育機関との連携
⑤		団体	宇和島市	愛媛県立北宇和高等学校三間分校地域情報ビジネス部	農業	地産地消	学生・若者の活躍
⑥		団体	八幡浜市	愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND	地産地消	学生・若者の活躍	関係人口の創出
⑦		団体	八幡浜市	ダルメインWorldマーマレードアワード&フェスティバル in Japan実行委員会	6次産業化		
⑧		団体	西条市	NPO法人うちぬき21プロジェクト千町棚田チーム	農業	棚田保全	農村環境・景観保全
⑨		団体	西条市	愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科	農業	企業との連携	学生・若者の活躍
⑩		団体	西条市	愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科 チームパパイヤ	農業	荒廃農地対策	鳥獣被害防止
⑪	地方 奨励賞	団体	大洲市	長浜高校水族館部	水産業	移住・定住	環境保全(農林水産業・食品産業)
⑫		団体	伊予市	愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班	農福連携	高齢者の活躍	学生・若者の活躍
⑬	地方 奨励賞	団体	東温市	奥松瀬川地区農村活性化協議会	農業	6次産業化	女性の活躍
⑭	地方 奨励賞	団体	愛南町	愛南町役場水産課海業推進室(ブルーカーボンプロジェクトチーム)	水産業	環境保全(農林水産業・食品産業)	食育・教育

応募地区（者）所在市町図（愛媛県）





きりぬき

『価値を再定義』

概要

- 農家から規格外柑橘を市場より高く買取り、インターネット販売やジュースへの加工、販売を通して柑橘農家全体の収益底上げを目標に活動を開始した。
- みかん農家や自治体、大学や福祉施設と連携し、みかんの選別体験会や講演会、販売イベントなどを開催している。
- 地域の既存産業とコラボし、柑橘のリキュール開発や伊予柑のクラフトビール開発に携わっている。



規格外柑橘の選別作業の様子



規格外柑橘から生まれた果汁100%ジュース



柑橘のリキュールお披露目会

成果

- 昨シーズン（令和5年10月～令和6年6月）は、70軒の柑橘農家から委託された25種類の規格外柑橘300トン販売した。
- 柑橘の発送作業で、地域の高齢者や大学生の新たな雇用を創出している。
- 老舗酒造会社・松山大学とコラボし、河内晩柑ジュース・伊予柑ジュースに日本酒を配合したリキュール「推し柑」の販売を令和5年に開始した。

〒799-2430 松山市北条辻16-6
070-8483-2507 kirinuki.mikanyama@gmail.com

関連情報はこちら▶



こうえきしゃだんほうじん まつやまし

公益社団法人 松山市シルバー人材センター

農で集うシルバーパワー

じんざい

概要

- 平成28年度に「まつやま郷土料理研究会」を発足し、郷土料理マイスターの育成、郷土料理の保存とビジネス普及、シニア世代の生涯現役活動の機会づくり活動に取り組んでいる。
- 伝統野菜「伊予緋かぶ」栽培と就農者育成の活動をしている。
- 令和5年度にみんなの農園「シルバーfarm平井」を開園し、耕作放棄地の解消と地域の方や会員との交流活動による農産物の販売や体験ビジネスの拡大を目指している。



まつやま郷土料理研究会マドンナキッチン



「シルバーfarm平井」での播種の栽培指導



伝統野菜「伊予緋かぶ」

成果

- 新橋アンテナショップに出店し、郷土料理ランチプレート試食や商品化した甘夏マーマレードを販売する活動を実践した。
- 農作物の栽培と販売による経済効果が得られ、令和3年に1名が就農を開始した。
- 集い・学び・地域の方や会員との交流活動の実施により、土に触れる屋外活動の場への参加を希望する高齢者が増加しているとともに、会員が活躍できる場として脚光を浴びている。

〒790-0808 松山市若草町8-3
089-933-7373 matuyamasc@sjc.ne.jp

関連情報はこちら▶



はっふ ほうじょう あぐりかるちゃー ぶろふえっしょなる ぶろだくしょん
HAPP (Hojo Agriculture Professional Production)
 いっしょにつくる、農業のあたらしいかたち。

概 要

- 松山市の北条地区で、農業経営のプロを目指す組織として、資材業者、税理士等の他業種からも参加を募り活動している。
- 新規就農者を地元呼び込む「HAPPyプロジェクト」活動により、農地や空き家、販路の情報を提供しサポートしている。
- 定例会での月1回の勉強会、週1回の農業者向けラジオ番組（アグラジ）での情報発信、食育の出前授業を実施している。
- 愛媛県「デジタル実装加速化プロジェクト」等の実証実験に参加し、デジタル化にも取り組んでいる。



「ラジオ番組アグラジ」の収録風景



ドローン等の新技術の研修



HAPP紹介パンフレット

〒799-2406 松山市中通781-1
 090-6880-7086 happy.hojo@gmail.com

関連情報はこちら ▶



かつようたい
しまなみイノシシ活用隊
 野生鳥獣との新たな共生のカたち

概 要

- 元々は島にいなかったイノシシによる農作物被害が増加する中で、利用が進んでいなかったイノシシを食肉等として利活用し、地域資源として所得に結びつけるため平成22年に設立された。
- イノシシによる農業被害の防止（1次産業の保護）と捕獲したイノシシの価値を最大限に利活用し、自然との「共生」を目指しながら農業生産活動の維持に取り組んでいる。
- 捕獲から販路開拓、販売までを一括で行い、鳥獣被害を抑える一方で、利益を確保する仕組みを構築している。



捕獲したイノシシの解体作業

成 果

- 鳥獣による被害の防止だけでなく、愛媛県が全国有数の柑橘類の生産地という地域性を生かし、「みかんイノシシ」としてブランドینگに取り組んだ精肉は、平成29年のコンテストでグランプリを受賞した。
- 当団体での雇用のみならず、これを機に狩猟やジビエに関わる仕事で移住・定住が促進されている。
- 市の枠を超えた広域でのジビエ利活用の起点になるとともに、行政や大学と連携し、豚熱ワクチンの散布も受託している。



通常は廃棄する部分の利活用

〒794-1304 今治市大三島町宮浦4975
 0897-72-8109 dfnouen@gmail.com

関連情報はこちら ▶





えひめけんりつきたうわこうとうがっこう みまぶんこう 愛媛県立北宇和高等学校三間分校

ちいきじょうほう

地域情報ビジネス部

地域の課題解決を高校生がコーディネート

概要

- 令和8年度末で閉校が決まった三間分校の生徒が「地域との関わりを広げ、宇和島市三間町を盛り上げたい」との思いから、地域情報ビジネス部を新たに立ち上げ、三間町の活性化を行うNPO団体「みまプロジェクト」と協力し地域活性化につながる活動を開始した。
- 地元のみま米を使ったライスバーガーとスイーツの販売・PR活動や愛媛と高知をつなぐ予土線圏域学校間交流を実施。
- 閉校後も地域に交流する場所を設けて活動を継続していく。

成果

- MIMAライスバーガーは、宇和島市内を中心に販売・PR活動を行い、970個を販売。地元企業と連携し開発した、美沼フルーツミックスは、マルシェに出店し約170個を販売し、地域のPRや活性化に貢献した。
- 三間分校がホスト役として企画・立案した、予土線圏域活性化のシンポジウムでは、圏域に暮らしている若い世代が、地域に貢献していく気運が高まった。



MIMAライスバーガーを販売・PR



みまプロジェクトのメンバーと商品づくり



予土線圏域学校間交流（駅舎にカボチャアート）

〒798-1115 宇和島市三間町戸雁764-3
0895-58-2031

関連情報はこちら▶



えひめけんりつやわたはまこうとうがっこう しょうぎょうけんきゅうぶあきんど 愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND

共創でワクワクするビジネスチャンスをつかむ

概要

- 「バーチャルカンパニーA★KIND（あきんど）」の名称で平成12年から数多くの活動を行い、近年では農業と漁業を融合した活動に注目し、地域資源を活用したビジネスプランや商品開発、ボランティア活動などを中心に活動している。
- 事業者、他の高校、就労継続支援B型事業所、塩の生産者と協働して、「海のアイス」を商品開発し、地元の道の駅で常設販売を開始した。また、海ごみを活用したクリスマスオーナメントのワークショップに挑戦した。

成果

- 様々な商品開発やイベント、ボランティア活動を通して多くの方々とつながりができたことにより、ビジネスチャンスが広がり、少しずつ成果を生み始めている。
- 商品開発を通して、八幡浜大島の知名度を上げることで、関係人口を増やしている。また、開発商品を通して地元八幡浜の魅力を発信し、地域の環境問題の解決に向け行動することで、地域に貢献できている。



開発商品：海のアイス



ボランティア活動：大島のおごみ



竹ツリー&海ごみオーナメント

〒796-0010 八幡浜市松柏丙654
0894-22-2570

関連情報はこちら▶



わーるど
ダルメイン World マーマレードアワード&フェスティバル
いんじゃばん じっこういいんかい
in Japan 実行委員会
マーマレードの聖地「やわたはま」へ

概要

- 英国の国際的なマーマレードコンテストを八幡浜市で開催できるよう誘致活動を行い、令和元年に日本初開催された。
- 本年（第6回）のマーマレードアワード&フェスティバルには、国内44都道府県に加え、海外では台湾、アメリカ、香港から過去最多となる計2,110作品の出品があった。
- フェスティバルでは、表彰式のほか、ステージイベント、農産物加工品販売出店ブース、受賞マーマレード販売ブースなどでマーマレード・農産物をPRした。



第6回大会最終審査会の一コマ



出品されたマーマレードの展示



英国大会・日本大会前審査員によるトークイベント

成果

- 大会期間中のマーマレードの展示やイベント、ブース出店により、来場した多くの人にマーマレード、かんきつの魅力を発信した。
- 同大会で金賞を受賞されたかんきつ生産者の団体等が企業化され、マーマレードを中心に農産物加工品を広く販売するなど、生産者という強みを生かした事業を展開。また、アマチュアの部で受賞された方々が、プロとして店舗販売・ネット販売など、事業化されている。

〒796-0048 八幡浜市北浜1-1-1
0894-22-3111 marmalade@city.yawatahama.ehime.jp

関連情報はこちら▶



えぬびーおーほうじん

にじゅういち

せんじょうたなだ

NPO法人うちぬき21プロジェクト千町棚田チーム
つなぐ棚田遺産～千町棚田から発信～

概要

- 平成12年にNPO法人うちぬき21プロジェクトが創設された。その後、平成26年から活動していた県立西条農業高校PTAやOB有志による「千町棚田再生プロジェクト」を平成29年に受け継ぎ、棚田の再生と環境保全活動を開始した。
- 令和3年からは千町棚田チームを結成し、地元の企業や団体、地元農業高校生とコラボして、米や野菜などの栽培から加工はもとより、放置竹林の解消、地域伝統文化（獅子舞や盆踊り）の継承も行い、3世代交流による地域活性化を目指している。



メンバーが参加しての稲刈り作業

成果

- 耕作放棄地となっている棚田を借り受け、棚田オーナーや活動に賛同する関係者とともに、環境保全活動として草刈りや耕作、農業体験活動、各種イベントの開催等を行っている。
- 環境学習を年6回実施し、千町棚田のフィールドワークや水生生物調査、竹を使った飯ごう炊飯やそうめん流し、竹を使ったおもちゃ製作を行い、棚田の環境保全と環境教育の啓発活動を行った。また、棚田サミットを開催し、棚田の保存と後継者養成の在り方について協議した。



伐採した竹を使った飯ごう炊飯体験

〒793-0035 西条市福武甲2128-15
0897-53-8902

関連情報はこちら▶



えひめけんりつさいじょうのうぎようこうとうがっこう しょくのうかがくか

愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科

未来を創る一步～七福芋を使った商品開発～

概 要

- 新居浜市大島特産の七福芋は大島以外での栽培が難しいとされる希少なサツマイモであるが、生産量が減少している現状や認知度の低さを知り、生産量や認知度を高めることを目標に活動を開始した。
- 認知度を高めるため、スイーツを開発・販売するとともに、各種イベントで認知度調査を実施している。
- 大島以外でも生産できないか、校内で試験栽培も行っている。



ザ・芋フェスというイベントで人気投票 1 位に

成 果

- 製菓業者とともに開発・改良した商品は、すべてのイベントで完売し、地方紙等にも掲載された。
- 各種イベントで実施した認知度調査の結果、地方紙等に掲載されたこの活動をきっかけに、七福芋を知った人が増加している。
- 他校主催の芋堀体験への参加や製菓業者を訪問して学習するなど、七福芋についての理解が深まっている。



西条農業高校での七福芋の定植風景

〒793-0035 西条市福武甲2093
0897-56-3611 saia-hof@school.esnet.ed.jp

関連情報はこちら▶



えひめけんりつさいじょうのうぎようこうとうがっこう しょくのうかがくか

愛媛県立西条農業高等学校 食農科学科チームパパイア

未来型農業！「青パパイア」×「ソーラー」

概 要

- ①鳥獣被害軽減、②地球温暖化への対応、③耕作放棄地の活用という地域農業課題を解決できる、青パパイアの栽培技術の確立と地域への普及を目指し、耕作放棄地において営農型太陽光発電設備下におけるパパイアの栽培を行っている。
- パパイアを身近な食品として捉えてもらえるよう商品開発を進め、イベントでの販売やパパイアを題材とした農業と環境学習会を開催するなど、消費拡大と認知度向上に努めている。



ソーラーパネルの下での実地栽培

成 果

- 太陽光エネルギーの活用による発電で、カーボンニュートラル活動を実現した。
- 耕作放棄地を有効に活用することにより、地域の耕作放棄地解消に貢献できる。
- パパイアは鳥獣被害を受けにくいということから、その被害の軽減が期待される。



パパイアの収穫

〒793-0035 西条市福武甲2093
0897-56-3611 saia-hof@school.esnet.ed.jp

関連情報はこちら▶



地方
奨励賞ながはまこうこう すいぞくかんぶ
長浜高校水族館部
水族館部は救う、街も学校も！

概 要

- 長浜高校は、全国唯一の部活動「水族館部」があり、海洋環境について学ぶことができ、水族館一般公開では、生物の解説や様々な体験イベントを開催している。また、水族館ならではの研究活動も充実している。
- 部員の増加により校内の施設が手狭になったため、令和6年4月に学校に隣接する長浜水族館跡地の大洲市長浜保健センターに移転し、リニューアルオープンした。

成 果

- 「水族館部」人気により県内外から多くの入学希望者が殺到し、廃校の危機にあった同校を救うとともに、人口の減少が課題であった地域に年間5,000人以上の交流人口をもたらし、地域活性化や地域経済にも大きく貢献した。
- 「国際学生科学技術フェア」において、「カクレクマノミ」がイソギンチャクに刺されないメカニズムを解明した論文が4等を受賞した。現在は、サツキマスの養殖研究に取り組んでいる。



リニューアルオープンした長高水族館



令和6年度水族館部



メイン展示室：竜宮城

〒799-3401 大洲市長浜甲480-1
0893-52-1251

関連情報はこちら▶

えひめけんりつ いよのうぎょうこうとうがっこう せいかがつかがかしよくもつはん
愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班
#伊予農福連携プロジェクト

概 要

- 企業、広島特別支援学校、伊予市、地元銀行との共助で地域振興を図り、農福連携を通じた共生社会の実現を目指している。
- 地元企業と連携し、ノウフクJASきくらげの栽培・管理とそれを原料とした商品開発に取り組んでおり、コラボコロッケの販売や「きくらげ鯛めし」等のレトルト食品の試験販売を行った。
- 漁業者の所得向上を目的に、サメやエイなど廃棄されている未利用魚を使った料理の考案に挑戦している。

成 果

- 広島特別支援学校との連携では、同校の学習発表会で、簡単に量産できる「トマトアイスボックスクッキー」が販売された。
- 地元土ぶら店と連携し、ノウフクJASきくらげ使用のコロッケ4種を考案して令和6年7月末までに3,606個を販売した。
- 未利用魚を活用した料理のレシピ検討を行い、企業に提案するとともに、地元銀行等とクラウドファンディングを立ち上げ、開始19日で目標を達成した。



考案した「きくらげ鯛めし」



ノウフクJASきくらげの普及活動



クラウドファンディング

〒799-3111 伊予市下吾川1433
089-982-1225

関連情報はこちら▶



地方
奨励賞

おくませかわちくのうそんかつせいかきょうぎかい

奥松瀬川地区農村活性化協議会

希望の田舎 奥松瀬川

概 要

- 農村型地域運営組織モデル形成支援事業の開始に伴い、令和5年度に奥松瀬川地区の地域運営の中心組織として再編した。
- 荒廃した山林や農地、耕作放棄地を整備し、令和元年度に柚子の新植を開始した。
- 令和5年度から、県外の養蜂家の技術提供を受け養蜂産業の再生に取り組むとともに、地域に根差した手芸文化を活かして、リースの産地化及び商品化を行っている。



柚子の新植



みつばちの巣箱製作



リース商品の共同製作

成 果

- 令和5年度には柚子の栽培面積が3haに拡大するとともに、荒廃農地が92aから58aに減少した。
- 養蜂の部会を設立し、会員数18名、蜜源作物栽培面積1.5ha、巣箱設置120群で活動を行い、メンバー全員が蜜蝋の製造技術を習得した。
- リースの産地化と並行し、リース教室や小学校へのリース出張授業を開催することにより、交流人口の拡大とリース文化の裾野拡大を図った。

〒791-0314 東温市松瀬川1876
050-1239-1606 hokkoriokumatsu@gmail.com

関連情報はこちら▶

地方
奨励賞
 あいなんちょうやくばすいさんかうみぎょうすいしんしつ
 愛南町役場水産課海業推進室
 (ブルーカーボンプロジェクトチーム)

「やっかいもの」にこそ価値がある！愛南町ブルーカーボンプロジェクト

概 要

- 漁獲量の減少や後継者不足が深刻化する中、持続可能な水産業を営むため漁場環境の保全が必須と考え、藻場造成の一環として食用に不向きで、「磯焼け」の要因となる「やっかいもの」ガンガゼウニの駆除を行っていたが、食用化に挑戦した。
- 真珠母貝養殖筏に毎年繁殖して生産活動の障害となっていた海藻をブルーカーボンとして再評価し、Jブルークレジット®認証の取得に挑戦した。

成 果

- 捕獲したガンガゼウニに町特産品のブロッコリーと河内晩柑の廃棄部分を餌として与え畜養することで、「ウニッコリー」として商品化に成功し、年間200~500パック販売した。
- 養殖業者の日常作業がブルーカーボンの創出源であると再評価され、四国初となるJブルークレジット®認証を取得した。今後、「海業」の一環として事業展開し、持続可能な海業の実現を目指していく。



畜養したガンガゼウニ



Jブルークレジット®認証を受けた筏上の藻場



ウニ等を用了環境学習

〒798-4196 愛南町城辺甲2420
0895-72-7312 umigyo@town.ainan.ehime.jp

関連情報はこちら▶

